

(様式4)

◆ (氏名) 南浦 涼介

<所属・職名> 東京学芸大学教育学部 准教授

<略歴>

タイ王国地域総合大学における日本語講師，兵庫県・滋賀県・広島県の公立学校（小学校・中学校・高等学校）および附属学校（小学校）の講師（日本語指導，社会科，地理歴史科，算数科，理科，図画工作科などの専科）の勤務とともに広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了。博士（教育学）。山口大学教育学部講師を経て現職。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

タイで日本語教師をしたのち，小学校と中学校で日本語指導講師をしていました。その際に，子どもたちの複数の文化や言語をとともに関連づけながら教科学習を学んでいく必要性を強く感じ，小学校での国際教室での実践を繰り返しながら「複数の文化と言語をとともに関わらせながら学ぶ社会科と日本語の統合学習」の開発を行いました（これはその後『外国人児童生徒のための社会科教育—文化と文化の間を能動的に生きる子どもを授業で育てるために』にまとめました）。その後も，学校の先生がたと一緒に外国につながる子どもの多く通う学校がどのように学校改革や地域連携を行って「力のある学校」にしてきたかの視点から，学校変革・子どもの成長と教育の評価との関係性を検討したり，タスクベースの教材開発に取り組んでいます。大学では外国につながる子どもに対する言語教育や，インクルーシブな視点から教育ができる学校教員の教員養成・教師研修の仕事（外国人児童生徒への日本語教育全般，日本語教育の方法，言語政策，異文化間教育，社会言語学など）に携わっています。

<対応可能学校種>

小学校・中学校・高等学校・NPO・ボランティア・教育委員会

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可 対応不可

<その他（国等の委員歴等）>

特に委員のような形の肩書きは持っていませんが，これまで東京都板橋・豊島区，群馬県伊勢崎市，広島県広島市，山口県山口市・柳井市・萩市・宇部市，福島県・岩手県などの学校や自治体・協会，教科書出版社，NPO法人などで外国につながる子どもに関連する研修をさせていただきました。

<関連URL>

<http://minamiura-lab.com/>（南浦研究室）

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容（モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応）」のA～Nの書く欄に，◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。